3/16日 木曜日 3/16 北日本新聞 （第3種郵便物認可） 新聞定価 月ぎめ本体価格2,845円（税込み3,072円）、1部売り（税込み）130円

子どもの貧困

とやまの現場から

<上>

新品の制服用意できず

シングルマザー

子どもたちが学びやを巣立つ晴れの日だったのに…。県西部に住む40代の英子さん（仮名）は、長男と次男が中学校を卒業した日の光景を思い出すたび、申し訳ない気持ちで胸がいっぱいになる。

黒々とした背中がすらりと並ぶ式典会場で、息子の学生服だけ色あせて白っぽく浮かび上がっていた。入学時、家計に余裕がなく、お古しか用意できなかった。3年の歳月がたち、生地がすっかり傷んでいた。日々の暮らしに追われ、気付いてやれなかった。「お下がりは嫌だったろうなって。かわいそうなことをしました」

ちょうど10年前、がんで夫を亡くした。当時息子2人は小学生、長女は幼児。シングルマザーとして3人の幼い子どもを育てていくことになり、県西部にある公営住宅で親子4人の暮らしが始まった。

「明日からの暮らしをどうしよう」。生活への不安は大きかった。

事業主婦だっただけに職業訓練を受け、幸い正社員の職に就けた。だが、年収は200万円台で税金などを引かれると手取りはもっと少なくなる。夫の年金を含めても毎月ぎりぎりの生活。一家は自治体から経済的に厳しい「準要保護」の世帯に認定され、子どもが小中学校に通っていたときは給食費や修学旅行費などを補助する就学援助を受けた。

援助の一つに入学準備金があった。ところが、それを制服の購入費には回せなかった。通帳を見返すと入学準備金の支給を受けたのは所得が確定した後の夏。出費は春先にかさむ。体操服、通学用かばん、自転車…。多くの物をまとめてそろえなくてはならず、やり繰りできなかった。

「支給時期を少し前にするだけで随分助かる」と英子さんは言う。県内の自治体で入学準備金の支給時期を前倒しする動きが広がってきたのは、今春からだ。

2014年に子どもの貧困対策推進法が施行され、国を挙げての取り組みが、ようやく活発化してきた。

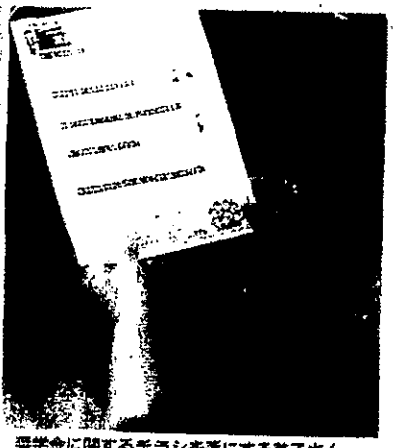
10月の衆院選で安倍政権は、大学の授業料の減免や返済不要の給付型奨学金の拡充を打ち出した。英子さんは、いいことだけど…と歓迎しつつ、胸がゆい思いが拭えない。

貧しさ故に子どもが夢や進学を諦めることにだけはならないよう頑張ってきた。長男と次男は既に大学に通い、娘は高校生に。高校時代から貸与型の奨学金を受けている息子たちは返済金額が大きく、将来負担にならないか心配が募る。

国の給付型奨学金の要件とされている住民税非課税世帯ではないため、娘が大学進学するときに給付型を受けられるかどうかも分からない。「子どもたちは何も悪くない。支援が後手に回るのを避け、本当に必要な人たちに届けてくれれば…」。そう強く願う。

◇

2018年度から本格実施される国の給付型奨学金で、富山県は学校に割り振られた推薦枠で1校当たりの人数が全国で最少だった。数字では"貧"とされる県内だが、貧困にあえぐ家庭が確かにある。現場をリポートする。



奨学金に関するチラシを手にする英子さん。シングルマザーとして3人の子どもを育ててきた＝県西部

春先に出費かさむ

179市区町村長 貧困対策提言

県内は氷見が加盟

全国179の市区町村長が参加する「子どもの未来を応援する首長連合」が15日、東京都内で総会を開き、子どもの貧困対策の充実を国に求める提言をまとめた。

提言では、子どもの養育環境を改善するため①出産が妊娠した時点から子どもが就職するまで途切れずに支援する制度の構築②親といった教育担の軽減―などを求めている。

首長連合は、多くの自治体で、

政治塾

富山市議会自民への返還請求

市長側 棄却求める

富山地裁

富山市議会自民への返還請求を棄却するよう求めた住民訴訟の第1回弁論が15日、富山地裁（廣田泰士裁判長）で開かれ、市側は請求を認めるよう訴えたが、認められなかった。

市民の会は、監査委員が判断せずに「司法の場で事実関係を解明することが監査委員の職務執行の在り方を正し、信頼される議会に変えることにつながる」と訴えた。

市長側は来年1月15日の次回公判までに、原告側の主張への認否や反論の書面を提出する。同会派は補助参加人として訴訟に加わることを14日付で富山地裁に申し出た。

富山市議会の政活費を巡っては、市民オンブズ富山が約2033万円の違法な支出があったとして住民訴訟を起こし、係争中となっている。

酒気帯び運転の砺波市職員に罰金

富山簡裁

5日に富山市婦中町責任の国道359号で酒気帯び状態で車を運転したとして道交法違反（酒気帯び運転）の疑いで逮捕、送検されていた砺波市財政課の橋本実主幹（52）＝同市庄川町宗野＝について、富山区検は15日、同罪で略式起訴した。富山簡裁は、罰金35万円の略式命令を出した。即日納付した。

橋本主幹は、同日午前8時ごろ、同町内の国道で、軽自動車に追突、運転者にけがをさせたとして、道交法違反（過失運転致傷）の疑いで逮捕、送検されていた。いずれも送検された。

キャンセラーの仕組み

車のシートベルト未着用時の警報を解除する器具

シートベルトのキャンセラー

車のシートベルト未着用時の警報音が鳴らないようにする器具「キャンセラー」に無断で自動車メーカーのロゴマークを付け、販売目的で所持したとして、千葉県警は15日、商標法違反の疑いで車用品販売会社、東昇国際（神戸市）の社員で中国籍の林瑞勇容疑者（41）＝岡市中央区中山手通＝ら男2人を逮捕した。県警は2人の認否を明らかにしていない。

捜査関係者によると、千葉県警は既に、同社が販売したキャンセラーを運転席に取り付けたことが車の不正改造に当たるとして、県内の19～28歳の男女3人を道路運送車両法違反の疑いで書類送検するなどした。不正改造を手助けしたとして、林容疑者ら2人も同法違反ほう助の疑いで捜査する。キャンセラーを巡る立

資料 7

（第3種郵便物認可） 新聞定価 月ぎめ本体価格2,845円（税込み3,072円）、1部売り（税込み）130円

子どもの貧困 とやまの現場から <中>

学習支援

「高校 絶対行きたい」

居場所つくる役割も

「おいしいね！」「お代わりしよっと！」。暖かな雰囲気で、子どもたちがうれしそうにカレーを頬張っていた。すっかり日は暮れ、時計の針は午後7時を指している。

10月下旬、氷見市内にある公共施設に集まったのは、市内の母子家庭などの児童生徒たち。2015年10月に始まった学習支援事業で、子どもたちは週に1回集まって、塾の講師や大学生らボランティアスタッフと勉強している。

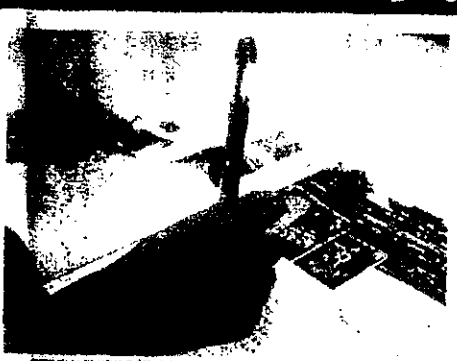
対象は当初、ひとり親家庭に限られていたが、昨春から生活支援も事業に加わり、生活保護を受けるなど経済的に苦しい家庭の子どもも通えるようになった。

この日は勉強する前に、手作りのカレーをみんなで食べる月に1度の特別な日だ。様子を見守っていた市社会福祉協議会ボランティアコーディネーターの開上潤巳さん(23)は「居場所づくりも目指していて、カレーはとほほ笑んだ。

貧しさにあえぐ家庭の子どもたちは経済的な理由で進学を諦めざるを得なかったり、不登校や高校中退の割合が高いことが指摘されている。日本財団（東京）の16年の調査を見ても、県内の貧困ではない家庭の高校進学率が99・8％なのに対し、生活保護世帯は91・4％。子どもがいる生活保護世帯の7割強を占めるというひとり親世帯の高校進学率も94・6％と低くなっている。

自治体の学習支援事業は、親の貧困が子どもの未来を左右する「貧困の連鎖」を断つことが目的だ。氷見市の支援事業は17年度の対象者が17人で、前年から10人増えた。

市の委託を受けた社会福祉協議会や関係機関が協力し、学習だけでなく居場所の確保や親との連携など生活面での支援プランも考える。一人一人の状況に沿ってサポートをしなければ、進学や就職に前向きに取り組めない。支援の場に来てもらうため、バーベキューやコンサートといった楽しく時間を過ごすイベントも計画する。



ボランティアの大学生に教わりながら日本史を復習する女子生徒＝氷見市内

メモ

学習支援事業 教育機会の格差などが子どもの選択肢を狭めないように支援する制度。ひとり親家庭の子どもを対象にした生活支援をメインに行っている自治体は富山県内で6市あり、来年度以降さらに広がる見通し。生活が苦しい家庭向けには高山、氷見の両市が行っている。

午後8時。カレーでおなかを満たした子どもたちは教科書やノートを広げ、それぞれの勉強を始めた。「古墳時代に支配を拡大したのは…」。日本史の復習をしていた女子中学生は、ボランティアの大学生と一緒に問題を解いていた。

女子生徒は小学生の頃からここに通っている。中学に入ってからは勉強についていくのが難しいと言い、部活もあるのに宿題もいっぱいとため息をつく。支援の場は楽しい。おしゃべりもできるし、勉強の分からないところを気軽に質問できる。

将来やりたいことはまだ分からない。ただ、高校は絶対行きたいと思っている。希望校は、学費の安い県立高校。親に迷惑を掛けたくないから。

午後9時。「起立、礼、ありがとうございました！」。子どもたちは机やいすを片付けて家路についた。大学時代からここで支援に携わってきた開上さんは「貧しさや家庭環境に負い目を感じないように未来を切り開いていってほしい」と、優しいまなざしで語った。

【関連記事9面】

富山市議会自民 領収書不適切と認める

政活費 返還の意向

富山市議会自民党会派は16日、2011～15年に政務活動費計3万3871円分の領収書に不自然な点があるとして返金する意向を示した。これとは別に、資料コピー代は、作山数男幹事長の市政報告会の印刷代として12年に支給され、会派が受け取った。オフィス用品店の領収書が添付されていたが、実際は会派控室でコピーしていた。5年以上過ぎたため監査対象外だった。作山氏は「共産党会派に回答したので（報道陣に）言うことはない」としている。

自民党会派は事務職員やコピーの事実は把握しているとしており、領収書は当時の事務職員が作成した可能性が高いという。領収書の入手経路は不明。

質問状は共産が9月に出していた。共産は16日、追加の質問状を自民に届けた。

自民党会派によると、市内の同じスーパーマーケットの領収書4枚に不自然な記載があった。同会派の経済教育部会と酒田重信市議、南昭弘、浦田邦昭の両元市議がそれぞれ自民党の2件は返還請求権の時効の5年を過ぎたため、監査の対象外だった。会派は5年以上前の政活費の返金は公選法に抵触する恐れがあり、返還の方法を探るとしている。

浦田氏の14年の領収書1569円分は監査請求後に判明。会派は、同氏が県書の捜査を受けているため、捜査終了後に本人に確認するという。

資料コピー代は、作山数男幹事長の市政報告会の印刷代として12年に支給され、会派が受け取った。オフィス用品店の領収書が添付されていたが、実際は会派控室でコピーしていた。5年以上過ぎたため監査対象外だった。作山氏は「共産党会派に回答したので（報道陣に）言うことはない」としている。

自民党会派は事務職員やコピーの事実は把握しているとしており、領収書は当時の事務職員が作成した可能性が高いという。領収書の入手経路は不明。

質問状は共産が9月に出していた。共産は16日、追加の質問状を自民に届けた。

北朝鮮の漁船 能登沖で転覆

海保 3人救助

15日午後3時40分ごろ、石川県の能登半島沖約360キロの日本海上で、海上保安庁の巡視船が転覆した北朝鮮の小型船を発見、船底上にいた北朝鮮の男性3人を救助した。3人は「乗組員は15人」と説明。海保が周辺を捜索しているが、他の乗組員は見つかっていない。

第9管区海上保安本部（新潟）によると、3人は命に別条なく、「漁をして北朝鮮に帰る途中だった」と話している。9管本部は16日午前、付近を航行していた北朝鮮の漁船に3人を引き渡した。

元米軍属 殺意を

沖縄女性殺害初公判 被告人質問

沖縄県うるま市で昨年4月、女性会社員＝当時(20)＝を暴行し殺害したとして、殺人罪などに問われた元米海兵隊員で軍属だったケネス・シンザト被告(33)は16日、那覇地裁（柴田寿宏裁判長）の裁判員裁判初公判で「殺すつもりはなかった」と述べ、殺人罪の起訴内容を否認した。強姦致死と死体遺棄の罪は認めた。検察、弁護側双方の被告人質問には黙秘した。

米軍関係者による凶悪犯罪が度重なる中、今回の事件に沖縄の怒りと反基地感情が噴出。日米地位協定が再燃、両軍属の範囲を定を結んだ裁判員が審うに判断する。

裁判状によると、昨年4月28日夜、うるま市の路上で、乱暴目的で襲ら棒で殴打、を刺すなど状態にしたが、殺害れず、殺害

裁判は17日の第3回公判求刑、弁護側書。判決は19日される。

同居4歳児 熱湯風呂に

埼玉 傷害容疑で男逮捕

埼玉県熊谷市で4歳の女児に熱湯を浴びせ、やけどを負わせたとして、傷害容疑で同居の無職男（30）を逮捕したと熊谷署が16日、明らかにした。

署によると、男は昨年12月、自宅で女児の次女（4）に熱湯を浴びせ、やけどを負わせた疑いがある。女児は風呂に入り、やけどを負わせたとみ

webun

関連記事「解放感でもりだった」

北朝鮮 貨物船

千葉県警

今月3日に入港していた香港籍の貨物船が停泊中、手続を受け「今朝鮮に寄港」いたことが16日、への取材で分事実なら、北全船船の日本た法律に違る。

しかし、保手続きなどを港を許してい保安庁との間きていなかっ入港禁止措置

（第3種郵便物認可） 朝刊定価 月ぎめ本体価格2,545円（税込み2,072円）、1部売り（税込み）136円

子どもの貧困 とやまの現場から

「夢や希望持っていい」

親亡くした体験 原点

<＞下>

12歳の少年は食い入るようにテレビを見つめた。夕方のニュースで、母が交通事故に遭ったことを報じている。1977年12月、窓の外は雨が降っていた。間もなく母はしんでしまったことを知らされた。「僕は独りになっちゃうんだ…」

富山市婦負小学校6年生だった柳瀬和夫さん(58)＝東京都八王子市＝は、その時のテレビ画面を今も鮮明に覚えている。歩道にいたところを車にはねられたのだという。

「病弱な父」だった父は3歳の頃、病気で農を引き取った。きょうだいはおらず、祖母と母との3人暮らし。父の仕事を引き継いだ祖母は県外にいることも多く、柳瀬さんは母が亡くなった時も1人で留守番をしていた。母の死の直後は、ショックのあまり「死んでしまおう」と思っていた。

祖母は客の情報を記した帳場帳を人に貸して収入を得るようになり、母の残したお金も多少あった。食べるものにも困るという暮らしではなかったが、苦しかった。いろんなことを我慢しなければならなかった。

例えば自転車。はやりのサイクリング自転車が欲しかったのに、祖母は「同級のいる家とは違うんだから」とすぐには買ってくれなかった。「どうしてなのか…」。被害者意識は強く、親の死や自分の感情を消化できないまま、担任の先生に紹介された交通遺児育英会の奨学金で富山第一高校に通った。大人になった今なら分かる。日本で現在問題になっている「相対的貧困」に陥っていたと。

親を亡くした子どもらの支援を長年続けてきた柳瀬さん＝あずのば

相対的貧困＝生死の境にあるような絶対的貧困に対し、社会で普通に生活ができない状態。日本は国の考えを基に貧困率を計算している。貧しさによって諦めざるを得ないことが多くなり、とりわけ子どもへの影響が強いという。富山県内の相対的貧困率は、スクールソーシャルワーカーの活動報告書（スクールソーシャルワーカーは、さまざまなマイナス要因を計算させる。親の貧困を断ち切り、幼いころからの切れ目ない支援が必要」と指摘する。

転機は大学時代の寮生活だった。千葉商科大に進み、同育英会が設けた学生寮「心塾」（東京）で似た境遇の同世代と知り合った。奨学金を利用する学生たちが交流を深めるイベントにも参加し、自身の経験や心の痛みに向き合い始めた。社会の問題も考えるようになり「自分だけが不幸の塊のように感じていたが、仲間と出会えた」と振り返る。

富山に戻り、いったんは母校の富山第一高校で教壇に立ったが、自分が支えてもらったように後輩たちを支える側になりたいという思いが強まった。交通遺児育英会やあしなが育英会で約30年働き、親をしんだ子どもたちをサポートしてきた。

離婚の増加や学歴社会の進展、家庭の経済格差の拡大などを背景に、子どもの貧困を巡る状況が複雑になっている。柳瀬さんは昨年4月からは、子どもの貧困対策に取り組む公益財団法人「あずのば」（東京）で働いている。あずのばは、組織の運営に若い世代も関わり、国への政策提言や全国で活動する団体への援助、給付金などを通じて支援を進める。

経済的に豊かとされる富山にも、つらい思いを抱える子どもがいることを、身を持って知っている。数字だけで捉えがちな貧困を一子ども目線に立って、何に困っているかなど具体的に見えるようにしなければいけない」と訴え、あずのばが7月に富山市で開いたイベントでは、子ども食堂など県内の状況を大学生らと考えた。

これまでの経験から、いま貧困で苦しんでいる子どもたちに伝えたい言葉がある。

「夢や希望を持っていいんだよ！」

（社会部・柳田伍稔）

サポート役

日馬富士暴行認める

鳥取県警 任意聴取 証言食い違い解明へ

大相撲の横綱日馬富士関(33)＝モンゴル出身＝が鳥取市内で平幕貴ノ岩関(27)に暴行し負傷させた問題で、鳥取県警は17日、東京・両国国技館で日馬富士関を任意で事情聴取した。捜査関係者への取材で分かった。日馬富士関は被疑事実に対し「間違いない」と認めると、瓶では殴っておりません」と否定し、証言が食い違っている。

県警は、既に現場となった飲食店などの関係者の聴取を進め、事実関係の解明を進める。

別の診断書 症状は軽く

貴ノ岩関の診断書は、石中頭蓋底骨折などの疑いとした福岡市内の病院のほか、発生直後に受診した別の病院のものがあることも判明。福岡での診断結果に比べ、症状が軽「内容はちょっと…」、貴ノ岩

富山市の県五福公園でイチョウの落葉が進み、園内の歩道や芝生を鮮やかな黄色に染めている、晴れ間が広がった17日、秋の終わりを感じさせる光景を眺めながら、のんびりと園内を散歩する人の姿が見られた。

秋の終わり 踏みしめて

富山 五福公園

高志の国文学館内レスト「ラ・ベットラ」来年3月

高志の国文学館（富山市舟橋南町）内のイタリアンレストラン「ラ・ベットラ・ダ・オチアイ・トヤマ」が、来年3月末で閉店する。石井隆一知事が17日の定例会見で明らかにした。店を経営する人気シェフの落合務さんが多忙を極め、これまでと同じように目配りを続けることが難しくなったためで、県は新たな出店者を募集している。

同店は2012年7月、文学館の開館とともにオープン。落合さんが出したレストラン食材も生かし人気を集めた。も貢献したとの人館者10万人同店を含む無料れた人が7割超

落合さんは「ベットラ」を3年でも1店舗を展や食に関する多く出演して、を続って、月に

母親切りつけた疑い 城端の32歳男逮捕

父親もけが 命に別条なし

刃物で母親(58)の頭を切りつけて殺害しようとしたとして、南砺警は17日、殺人未遂の疑いで、南砺市城端地域、自称会社員の男(32)を逮捕した。60代の父親も頭部にけがを負い、母親とともに病院に運ばれたが、命に別条はないという。同日午後6時ごろ、自宅で母親の頭部を切りつけて傷を負わせようとした疑い。

同署によると、男は人暮らしとみられ、19番した。同署らタクシーを深2時間後、明